

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本丸善海陸運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		社内に掲示し、社員へ周知し又、朝礼やミーティングにてレビューしている。										8	9																				17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規定があり、職場の掲示板や朝礼・点呼時に再発信し、社内・社外教育及び国土交通省告示の指導監督指針に基づき毎月全社員を対象に指導教育を行っている。																															16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、適正な契約・運賃を提案し全社員に向け、その重要性を発信している。																10														16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		コンプライアンス担当・責任者また安全衛生推進者・安全衛生委員会を設置している。																														16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する勉強会や研修会を実施している。												8.2	8.3	9																		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		情報漏洩防止に努め、個人情報については書庫にて鍵をかけ、保管・管理している。																														16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様との定期的な会議、行政機関による研修会を通じコミュニケーションを取り、お互いの情報交換・共有に努めている。																													16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		お客様との会議を通じて人権侵害の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント防止)について認識を高め共有している。					5						8			10			12	13	14	15	16	17										
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		緊急連絡網を設定し、非常用発電機等備え、熊本地震・水害を教訓にBCPを策定している。														9			11			13.1									16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		社内外の教育やグループ会社内での出向を行い、後継者育成・継承の指導に取り組んでいる。														8	9															17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		来客時等に提供しているコーヒー・紅茶の購入の際は、フェアトレード商品を積極的に利用している。	1	2			5							8						12	13	14	15	16	17									
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスメントセミナーを管理者は受講し、差別や各種ハラスメント禁止要項を就業規則に定めるなどとして、社内において差別やハラスメントがないように相談窓口を設置している。							4.3	4.4	4.5	5.1	5.2	5.5																		16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		メンタルヘルスを確保するためにストレスチェックを定期的実施し、不安がある者は産業医に相談できるように相談窓口を設置し、安心して働ける職場環境作りを行っている。							3																									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働・同一賃金を理解・認識し社員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。											5.5																					
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮、生産性の向上に努め、有給休暇の積極的取得や健康増進に取り組んでいる。																																
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		必要資格の取得支援(大型免許・リフト免許・運行管理等)を行っており、自己啓発研修・CS教育への外部セミナー参加、初任運転者教育を社内でも実施している。																																
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		日々の朝礼・点呼時に交通事故等への注意喚起や健康増進への取り組みの促進を行っている。 健康診断・がん検診の経費補助を行っている。																														17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に人種・性別などの違いによる差別的待遇はなく、ダイバーシティマネジメントを推進した取り組みをしている。																														16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。	●		WEB会議を導入している。事務所内の空調設備・事務機器等共有備品のアルコール消毒、社員全員へマスク・アルコール消毒配布を行い、感染者・濃厚接触者発生時に対する対応及び指示・管理体制を確保している。																																
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		デジタルタコグラフのクラウド化を進めている。																																
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本丸善海陸運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		社内におけるごみの分別を行い、廃棄物・有害化学物質においては業者委託している。また、各担当者が有害化学物質を把握し、法令に沿った適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		デジタルタコグラフにて、燃料使用量を把握し、急発進・急加速のない運転及びアイドリングストップに取り組んでいる。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてCO2排出量を計算しCO2排出の制御に取り組んでいる。モーダルシフトの取組みとして荷主様と連携を取りながら、フェリー輸送を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		エコドライブ活動として、社員に対し燃料削減を指導して運行毎の燃費計算をデジタルタコグラフにて算出し、エコドライブを行うように促している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		事務処理のペーパーレス化【FAX(DW)を使用しPCに取り込み】・メール・PDF活用】を実施しており、燃えるごみを減らすために使用済みコピー用紙の裏面を積極的に使用している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		資源確保の為、節水コマの取付や水質汚染防止の為、オイル漏れ等整備の管理を強化している。		2.4				6.3 6.4 6.6					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		事務用品や職場で利用するコーヒーや麦茶・水・紙類は環境負荷の少ない商品を使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		食品ロスの削減について、飲料の飲み残し、食材の食べ残しを減らすように社員に家庭内でも取り組むよう呼びかけている。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所棟周辺の植栽・夏場のグリーンカーテンを行っている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		本社敷地内により植林等の森林整備活動に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		ごみの分別化を強化し、特にプラスチック・ビニール類の分別を強化し業者に回収を委託している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			アイドリングストップの徹底・エコ運転の義務化フェリー輸送の導入などにより、2050年CO2排出実質ゼロを目標に計画的に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本丸善海陸運輸株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		毎月、乗務員指導教育を実施し、安全意識・輸送品質・サービス向上に努めている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		洋式トイレ・ウォシュレット完備トイレを事務所1階と2階に2カ所設置している。									9.1	10	11.7							17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	会社の壁面・床面に木材を使用している。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		月に2回、職場周辺地域のごみ拾いの実施・草刈りをしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本地震・水害を教訓にしてBCPを策定している。従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	AEDの設置・社内研修での心肺蘇生法の習得を促進している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGs普及のために、CO2削減・ごみの削減・ダイバーシティ経営などについて社員に周知し、社内における理解の向上に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	自衛隊支援センターと契約し自衛隊退職予定者や高校生の職場体験インターンシップの受け入れを行っている。				4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	熊本県またはトラック協会主催等の会社説明会へ積極的に参加し、県内の若者に熊本の会社が魅力ある職場であることをアピールしている。				4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。